公益財団法人 とくしま産業振興機構

［企業情報とくしま］ Corporate information Tokushima

TOKUSHiMA

とくしまのがんばる企業を応援します

(公財)とくしま産業振興機構 ● www.our-think.or.jp

2025 December
No.509



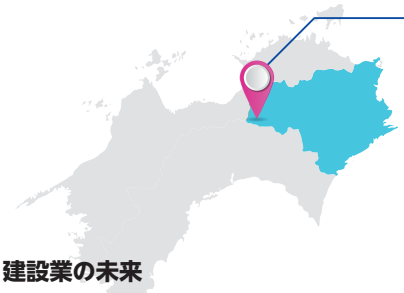


徳島の企業

曲風園(きょくふうえん) / 四国で唯一の茶師十段が自らつくるお茶!

Contents

徳島の企業…… 02
曲風園
とくしま起業人 …… 04
◦**合同会社 藍らぼ・AWA**
◦**お宿 すだち庵**
事業紹介…… 06
DXに挑む県内企業
三次元測定機とDXのチカラで実現! 建設業の未来
事業紹介…… 07
四国モノづくり合同商談会2025 in TOKUSHIMA開催レポート
税理士から一言 …… 08
ファイナンス理論
よろず支援拠点 …… 10
徳島県の中小企業における新卒採用で大切な3つのこと
長久館セミナー一覧 …… 12
近日開催の長久館セミナー一覧
事業紹介…… 13
とくしま経済飛躍ファンド活用事例「株式会社ボンアーム」
賛助会員紹介…… 14
◦**株式会社リブドゥコーポレーション**
◦**森正株式会社**
アジア展望 …… 15
中国の高齢化について
会館だより …… 16
令和8年度とくしま経済飛躍ファンド助成事業募集開始のお知らせ



Pick Up News

関連記事 P2

世界農業遺産に登録された 急傾斜地の茶畑で安心・安全なお茶作り

大歩危峡に近い、三好市山城町上名の美しい山々が連なる急傾斜地で3代にわたりお茶の栽培・製造・販売を行っている曲風園。代表の曲大輝さんは四国で唯一の茶審査技術十段(最高段位)、通称茶師十段の資格を持つ。日本茶のみならず、紅茶、フレーバーティーといった幅広い商品を提供している。さらに徳島県内で初めてとなるウーロン茶の製造を始めた。新商品のウーロン茶やお茶づくりへの想いを伺った。



曲風園

世界農業遺産にも登録された急傾斜地に点在する茶畑で農薬を使用しない栽培にこだわり安心・安全なお茶作りを続けている曲風園。製造から販売まですべての工程を自社で行っている。フレーバーティーにも香料を一切使用せず自然素材だけの香りを楽しめる。美味しいお茶をいただくことは至福のひとときになる。


曲風園　代表　曲 大輝 氏

―今までの歴史

工場に入ると、お茶ならではの芳醇で香ばしい香りが漂い「うわっ。良い香り！」と思わず声にでた。工場内で淹れていただいたウーロン茶は一般的にイメージする濃い茶色ではなく琥珀色。華やかで、ふわっとした良い香りがしてくる。焙煎をしていないため緑茶に近い味がする。香り高く美味しいウーロン茶をいただきながら取材が始まった。

初代は曲代表の祖父である曲 典仁氏が組合に所属し組合からお茶を静岡県に出荷していた。自社のお茶工場を建て、作った茶葉を加工して販売までする形になったのが昭和55年。父の清春氏の代になってからは、市場に出荷をせず完全にお客様に販売をするようになった。三好市山城町は、適度な日照時間と雨量、気温など、美味しいお茶をつくるための条件が整っているという。茶畑の周りには、吉野川水系の清流藤川谷川が流れ、茶葉に必要な適度な湿度をもたらしている。その年の最初に摘み取られた一番茶を収穫・加工する5月の新茶シーズンに日当たりが良く暑すぎると、旨みや甘み成分であるアミノ酸が、渋み苦み成分であるカテキンに変わってしまう。山城町の標高200～500m の傾斜地は1日の日照時間が平坦地よりも少ないという特徴があり、お茶の旨み成分や甘味成分を長く保持でき、良いお茶を作るための環境が整っている。しかも、お茶摘みの5月の時期はほとんど虫がつかず、農薬を使わず栽培することができ美味しく安心で安全なお茶づくりに適している。

3代目の曲 大輝代表の高品質で、美味しいものをつくりたいという想いは徹底している。販売しているのは緑茶、番茶、ほうじ茶、玄米茶、くき茶、粉茶、紅茶、フレーバーティー、炒り番茶、かぶせ茶など多岐にわたる。茶の葉を長く蒸す製造が主流の中、曲風園の手法は、蒸し時間を短くしお茶の香りを残すような作り方で、香りや旨味・渋みのバランスが取れた茶葉が特徴だという。伝統的な栽培や製造の方法を受け継ぎ、美味しいお茶を作り続けながら、曲代表が、和紅茶、すだちや、伊予柑など四国の自然の素材のみを使ったフレーバーティーを販売するようになり、さらに今年はウーロン茶製造といった新しいことにチャレンジし続けている。

―四国で唯一の茶審査技術十段

お茶の業界とは全く違う民間での仕事を5年間経験し、23歳の時に山城町に帰り曲風園でのお茶の栽培・製造・販売に従事した。戻ってから12年の月日が流れた。事業承継をしたのが令和3年だった。

ゆくゆく山城町に帰るなら少しでも早い方がいいだろうとUターンを決めたという。振り返ると、早い段階で帰ってきたのは正解だったと実感している。美味しいお茶を栽培し、製造、販売を生業とするなら「美味しいお茶」を提供できるように、味覚や嗅覚を若いうちに鍛えることは重要だと考えていた。茶葉を美味しい製品として流通させるために欠かせない人が「茶師」と呼ばれている。その茶師の中でも最高位の十段を曲氏は今年9月に取得した。徳島初、四国でも唯一の茶師十段だ。全国でも茶師十段は30人しかいない。茶師の資格は、茶商といわれる、お茶を仕入れてブレンドをして提供する町のお茶屋さんが挑戦する人が多い中、生産者で十段を取得するのは全国でも珍しい。しかも、この資格は全国茶業連合青年団に所属したメンバーで、45歳未満までしか挑戦できない。初段から始まり、一つずつ段位を上げていかなくては最高位の十段にはなれないという難関だ。

今年9月に東京で開催された第72回全国茶審査技術競技大会では全国から選ばれた120人が集い、茶審査技術日本一をかけて真剣な競技が行われ、その中で個人戦三位という成績を収めた。大会ではお茶の品種や産地、一番茶、二番茶、三番茶など摘んだ時期を見分けるなど、


茶摘みの様子

味・香り・外観などを判定する「茶審査技術」が競われた。獲得した得点により段位が認定され今年は十段に３名が昇段した。その中の一人が曲代表だ。五感を研ぎ澄ませて全力で競技に臨み、目標としていた最高段位の十段に昇段することができた。何年もかけ昇段していく中で、良いお茶、悪いお茶を見わける判断力も身についたという。茶師は茶商が持つ資格のイメージがあったが、茶師十段が茶畑を持つ生産者で、自らの手で責任を持って美味しいお茶を世に出すことでお茶そのものの価値を上げたいという想いもある。「美味しい幸せの一杯」を届けるための努力は底知れぬものがある。



茶師十段の認定



―二番茶が和紅茶に。さらに徳島県内で初めてのウーロン茶作りをスタート

５月に摘むお茶の葉は新茶となり、すべてが緑茶となる。この一番茶を摘んだあと35日～40日経つと二番目の芽が出てくる。これを二番茶という。以前はこの二番茶や３回目に摘む三番茶はすべて刈り捨てていた。昔は二番茶も摘んで、緑茶として市場に出していた頃もあったが、市場価格が下がり赤字になってしまうことから廃棄されていた。そこで廃棄ロスを減らそうと７年ほど前から曲代表が、二番茶を使って紅茶を作ったのが、曲風園の紅茶の始まりになった。美味しい紅茶ができたことから、大歩危和紅茶と名付けた。苦味や渋みが少なくすっきりとした後味と鮮やかな紅色が特徴。徳島県産のすだちの皮や高知県産のゆずの皮と和紅茶をブレンドしたフレーバーティーなどが生まれた。紅茶を製造するときには自社にある緑茶の機械を使えたのでスムーズに製品化となった。

徳島県ではウーロン茶を作っている人はいないが、他の産地へ行くと、お茶の二番茶や三番茶を使って華やかな香りのウーロン茶を作る茶園があった。曲代表も美味しいと思っていたし、ゆくゆくは作りたいと考えていた。ただし、ウーロン茶の場合は茶葉を蒸す緑茶や紅茶とは違い、葉を混ぜて半発酵させ、炒るという工程が必要となるため新しい機械を導入する必要があった。３年前に台湾製の製造機械を購入し、2024年度の県の補助金を活用し、工場と茶葉の香りを出す機械を取り入れた。年内に葉っぱタイプと、ティーバックを商品化し、自社ウェブサイトやイベントなどで販売する予定だ。国産で徳島県初のウーロン茶は、独特のロースト感、まろやかさ、そして華やかな香りと甘みがある。安心・安全で品質が高いウーロン茶を提供する。廃棄ロスを減らすだけでなく、全国で勝負ができる商品を今後提供していく。


曲風園の急傾斜地茶畑

―販売経路も拡大

売上は昨年が3,600万円。今年は4,000万円と売上げも上昇している。JR四国の高松オルネや、今年からは大塚国際美術館など販路が広がっている。季節的に寒くなると温かいお茶が売れてくる。将来的にはお茶の魅力を伝え、三好市山城町や大歩危にお茶を飲みにくるという客層をつくりたいと考えている。土産物屋には、複数の生産者さんのお茶が並んでいるが、お茶を飲める場所がなかなかない。産地に行ってお茶を飲むっていうのが理想だという。県内外はもちろん海外からのお客様もいる。例えばお茶畑を見ながらお茶を飲めるようなことも実現したいと考えている。

これからもお茶作りに情熱を注ぎ努力を重ね、全国で勝負ができるお茶を作る日々が続く。　　（文責：藪田ひとみ）

Company Profile

会　社　名▶曲風園
所　在　地▶徳島県三好市山城町上名196
代　表　者▶代表　曲　大輝氏
設　　立▶昭和55年（1980年）
事業内容▶お茶の栽培・製造・販売
従業員数▶４名
T　E　L▶0883-84-1103
U　R　L▶https://kyokufuen.com/
Instagram▶https://www.instagram.com/kyokufuen/

▲HP　▲インスタグラム

Interview

とくしま起業人



合同会社　藍らぼ・AWA

代表者　近藤 真紀

住所：鳴門市大麻町板東字辻見堂77番地4（こちらは、事務所兼工房となります）　TEL：090-8978-3658　URL：https://ai-labo-awa.com/　Mail：maki.kondo0430@gmail.com

令和４年５月
開業

●起業の経緯を教えてください

私は、大学院修了後、大学で44年間、研究と教育に携わってきました。とくに栄養学の分野でも生化学と解剖生理学を専門に担当。また、学生時代から実験用動物を用いた研究に取り組んできた技術を生かして食用藍の機能性に関する研究を行い、いくつかの知見を得、藍には生活習慣病を予防する成分が含まれることを示唆する結果を得ました。さらに2020年には、藍の葉、茎は食品として利用できることが、厚生労働省に承認されました。そして、この茎に豊富に含まれる繊維が腸内環境を改善し、次世代のプロバイオティクスといわれるフィーカリバクテリウムが増えることを動物実験で確認することができました。また、茎抽出液が、インフルエンザウイルスの増殖を抑制することも既に報告されています。

私たちが生まれ育った徳島県は、藍の栽培面積並びに収穫量は全国１位、年間65トン（国内生産量の７割）の藍が栽培されていますが、染色や食用に用いられているのは葉であり、茎は年間32トンのゴミとなって処分されています。

それらを有効活用すること、自身のこれまでの知見やノウハウを活かすことで、消費者の健康志向にマッチするだけでなく、SDGs にも貢献できると考えるようになり、退職のタイミングで起業できるよう準備を進めてきました。



粉末状にした藍の葉入りクッキー

●御社の主な事業内容を教えてください

主な事業内容は、次の５つとなります。『食用藍』に含まれる機能性成分は、体脂肪の減少、血清中性脂肪、血糖値の抑制に関与していることから、食用藍は生活習慣病予防、あるいは改善に効果的であるといえます。そこで、食用藍の研究で得た様々な成果を生かすため、また食生活にどのように取り込んだらよいのか提案するため、当社では、藍葉や藍茎添加食品を製作、販売するとともに藍の機能性成分に関心のある企業様へのコンサルティングや、健康に役立つ新しい商品の開発を進めています。そして、その認知度を高めるための加工品の販売やマルシェ等への出店も行っています。

●起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

大変と感じることは、何もかもすべて一人で行うことです。食用藍に関する情報発信業務、認知度向上に向けた商品等を製造することはもちろん、その販路開拓、イベントやマルシェ等への出店準備、会計・申告、各種申請書類の作成など、時間との勝負もあるため、心身共に厳しいなと思う時があります。ただ、その分、道の駅でクッキーを購入いただいた横浜のお客様から直接、購入したいとのメールが届いたり、食用藍を大学院の研究論文のテーマとしたいので協力してほしいとメールが届いたり、障がい者就労支援施設や現役高校生からも質問や問い合わせメールが届いたりして、これまで力を入れてきた「食用藍に関する情報発信」、それに付随した「食用藍の加工及び加工品の販売」の成果が表れてきたことに対し、喜びを感じています。地道な取り組みかもしれませんが、確実に成果に結びついてきているのが、続けてて良かったと感じる瞬間です。



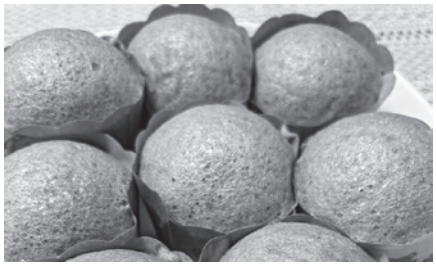


●起業を志す方にメッセージをお願いします

まずは、深く考え込まず、（少しずつでもいいので）新たな世界へ飛び込んでみることをお勧めします。私は、大学という狭い世界で長年過ごしてきたのですが、少しずつ、新たな世界に飛び込んでみるとこれまでとは違う新たな世界が見えてきます。新たな人脈も得られます。これまで会ったことのない人と話すことで、新たな視野が広がり、新たな可能性を見出すことにもなると実感しています。どんなことでも少しずつ、チャレンジしてみれば、次につながると思います。



藍茎のマフィン



藍葉の粉末入り蒸しパン

藍らぼ・AWA

現在、藍らぼ・AWA の商品は、下記の店舗で購入いただけます。
・「エイワ農場」鳴門店　・「道の駅第九の里」（鳴門市）
ふるさと納税の返礼品としてもご購入可能。（商品名：藍葉入り丸パン 20 個入り）

◆楽天ふるさと納税◆
https://item.rakuten.co.jp/f362026-naruto/al001/
◆ふるさとチョイス◆
https://www.furusato-tax.jp/product/detail/36202/6234374

創業コーディネーター／伊勢貞雄より

起業のスタイルは、人それぞれ。その人の人生観や取り組んできたことへの想い、経験やノウハウなどのバックグラウンドは100人いれば100通り。それらの組み合わせで、事業コンセプトは決まってくるものです。近藤先生は、長年、栄養学だけでなく、徳島を代表する藍、食用藍についての研究を重ねて来られた第一人者であり、その知見やノウハウなどは徳島県を代表する大きな財産だと思っています。それらを、今後、起業する様々な人たちだけでなく、様々な事業者に“繋ぎ”、それらの活用で、藍産業や地域の活性化につながるよう、引き続き、お手伝いできればと考えています。

Interview

とくしま起業人



お宿 すだち庵

代表者 角田 雄士

住所：名西郡神山町下分字鍋岩180　TEL：090-2677-8000　URL：https://sudachian.com/

令和3年6月1日
開業



●起業の経緯を教えてください

もともと自分自身も、歩きお遍路としてお宿すだち庵に泊まったことがあります。前オーナーの尼僧さんが亡くなったその時に、跡を継いでくれないかと云われた事を思い出しました。また、私の周囲が背中を押してくださることもあり、何かのご縁を感じすだち庵の跡を継ぐことを決心しました。今まで自営業で飲食店や接客業を経営していた経験もあり、初めてのゲストハウスの経営、創業することを決意しました。

●主な事業内容を教えてください

お遍路宿として、主に歩きお遍路さんに宿泊サービスを提供しています。すだち庵は、12番札所の焼山寺の近くにあり、周辺には数軒しかお宿がない状況です。また、11番藤井寺から12番焼山寺は「遍路ころがし」と呼ばれるほどの難所で、丸1日かけて約12.9kmの山道を登ります。歩き疲れたお遍路さんが、ほっと安心できるお宿です。

すだち庵は、素泊まり4,900円で、歩きお遍路は50日以上四国の各地で宿泊するため、料金を安く抑えています。宿泊以外にも、荷物の配送や食事、日帰り温泉の送迎などのサービスをオプションで提供していて、お遍路さんが安心して楽しんで休息してもらえるよう考えています。

●起業して大変だったこと、良かったことはありますか？

お遍路宿の運営は、お遍路さんを経験した人にしかできないという強みや、やりがいがあります。お遍路という特別な文化やご縁の根底にあるアイデンティティと商売が一致しており、私達にとってはお宿の運営はストレスフリーです。

ただ、毎日の運営は楽ではなく大変です。焼山寺は山の中にあるので、宿泊予定者が1人来ないだけで大騒ぎです。ケガや遭難された方を救助に行ったり、病院まで送迎したりと普通のお宿では経験できない様々なことが起こります。故に、すだち庵のスタッフはチーム感を持ってみんなで協力しあって運営しています。

●起業を志す方にメッセージをお願いします

全く初めての起業をする人は、まず自分が何をしたいのか！と、それがどの顧客にコミットするか！を考えることです。熱い想いを誰にコミットさせるのかを真剣に考えてほしいです。想いだけが空回りすれば顧客獲得は難しいでしょう。「もし、お遍路宿をやるなら、いつでも弟子入りに来てください。すだち庵で待っています!!」



@SUDACHIAN2021

●取材の感想

「人との縁が背中を押すこともある」ということを改めて感じました。私も思い返せば、人との縁によって経験できたこと、新たな縁と出会えたことがたくさんあります。今回の取材も縁が縁を呼び寄せ、繋ぐことができたからこそ実現できたことだと思います。今ある縁を大切にしながら、新たな縁とも出会い、今後もたくさんの経験を積んでいきたいです。

（取材：鳴門教育大学4年 安藤瑞輝）

創業コーディネーター／里見和彦より

角田代表は、徳島との縁は、自身が歩きお遍路として出逢ったお宿すだち庵とのご縁が繋がったとのことです。経験や出逢いが人生を変えるとは良く聞きますが、お遍路さんという特別なご縁に導かれた人にしかわからない事を、今後歩きお遍路をされる方に伝え・サポートしていく道を選びました。自分自身の体験（ご縁）を活かした創業で、すだち庵は歩きお遍路さんにとっては安心な灯がともる、角田さんらしいお宿です。

事業紹介

DXに挑む県内企業

お問い合わせ先
とくしまDX推進センター（とくしま産業振興機構内）
〒770-8570 徳島県徳島市南末広町 5-8-8
徳島経済産業会館 2階
電 話／088-654-0102
E-mail／tokushima-dx@our-think.or.jp
DX・デジタル化相談フォーム

三次元測定機とDXのチカラで実現！建設業の未来

株式会社姫野組

業　　種　土木、建築、設備、住宅等の総合建設業
取り組みテーマ　測量データの 3D デジタル化
活用した支援　生産性革命投資促進事業費補助金

Before/取組み前の課題

- 測量作業に旧来の測量機器を使用しており、作成できるデータは二次元だった。
- 測量データの取得に時間がかかっていた。
- 測量結果等を手作業で整理するため、入力ミスが発生していた。

After/取組みによる効果

- 測量データを三次元で作成できるようになった。
- 1現場あたり平均110時間の測量時間を削減できた。
- 1人あたり55時間の業務時間を削減できた。
- 削減した時間で、現場業務において負荷の大きい書類作成に集中できるようになった。
- 手作業のプロセスが削減され、計測やデータ処理のミスのほとんどが解消された。

◆ ICT 施工の導入が進む中、測量作業に残る課題

徳島県の道路や河川堤防、公共施設などの公共工事を手掛けている株式会社姫野組は、県内最大手の総合建設業者である。

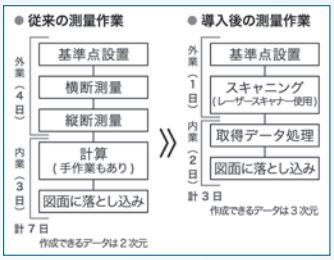
近年、建設業界においては、建設生産システム全体の生産性の向上を目的に、国土交通省がICT施工を導入することを推進している。同社もこの流れを受け、現場でのICT施工を順次導入し、令和5年10月には土木部門と建築部門の生産性向上を担う独立部署「事業推進本部」を新設した。

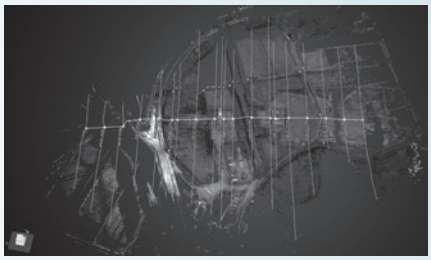
しかし、同社の測量作業には、依然として旧来の測定機器を使用する場面が残っていた。機器を扱える人材は限られていたうえ、メジャーやトランシットといった測量機器ではデータ取得に時間がかかっていた。さらに、取得した二次元データを手作業で整理していたため、入力ミスが度々発生し、これらが長時間労働の一因となっていた。

◆ 三次元測定機器類を導入し、時間短縮とミス低減を実現

これらの課題を解決するため、同社は三次元測定機器類を導入し、現場での作業時間の短縮を図った。具体的には、従来の測量方法に替わるレーザースキャナーを用いてスキャニングを行い、3D点群処理システムを用いて三次元空間上でのデータ処理を可能とした。その結果、現場での測量作業が平均110時間削減され、年間で1,320時間削減することができた。さらに、現場職員の業務時間が1人あたり55時間削減され、その時間を特に現場業務において負荷の大きかった書類作成に充てることができるようになった。

加えて、測量機器で得られた三次元データと、それを活用する関連機器類を自社内で一元的に運用する体制に整えた。これにより、手作業のプロセスが削減され、計測やデータ処理におけるミスのほとんどが解消された。




レーザースキャナーによって得た三次元データ

◆ 三次元データの波及で建設業界の未来を切り拓く

これらの取組みを通して、同社は、全社的な測量業務全体の効率化と三次元データを基にしたBIM/CIMでの情報管理や、クラウド中心のデータの集中管理が可能となる状況を作り、属人的な業務をさらに削減することを目指している。まずは機器購入を足掛かりに測量業務の作業工数を減らし、BIM/CIMでの情報管理に繋げていく。

また、三次元データの活用には、専門的な人材が必要なため、同社は社内に専任者を設け、現場職員が現場の品質向上に時間を割ける体制を整えている。この技術の導入には、担当者の擁立だけでなく、運営体制を構築する人材も必要であるが、中小企業においてはこうした人材を確保することは容易ではない。三次元データは、今後もさらに需要が高まると考えられるため、同社は現場職員や若手職員にも技術的知見を広めることで、人材育成に取り組む計画である。

こうした取組みを、関連グループ会社や協力会社にも波及させ、建設業界全体の底上げを図っていく。

会社概要

会社名：株式会社姫野組

所在地：徳島県徳島市佐古8番町5-7（本社）
代表者：代表取締役社長　姫野 敬行
設　立：1953年2月（創業1882年3月）
資本金：9,920万円
事業内容：総合建設業
T E L：088-623-3211（代表）
U R L：https://himenogumi.co.jp/

事業紹介

四国モノづくり合同商談会2025 in TOKUSHIMA 開催レポート

合同商談会の概要

名　称	四国モノづくり合同商談会2025 in TOKUSHIMA
日　時	令和7年11月27日(木) 10:00~17:00
会　場	アスティとくしま
主　催	公益財団法人とくしま産業振興機構　公益財団法人かがわ産業支援財団 公益財団法人えひめ産業振興財団　公益財団法人高知県産業振興センター
参加者	発注企業60社 受注企業145社(徳島県40社　香川県35社　愛媛県51社　高知県19社)
商談数	576件

四国4県の合同により、中小企業の受注拡大、新規取引の促進などを目的に、令和7年11月27日(木)に「四国モノづくり合同商談会」を開催しました。当商談会は、全国から招へいした発注企業(資材調達担当者等)と四国4県の中小受注企業が対面で商談を実施するものであり、四国4県の持ち回りで毎年開催しており、本年度は徳島県(徳島市:アスティとくしま)での開催となりました。

関東から九州まで幅広い地域から、工作機械をはじめ、各種省力化設備機械及びプラント設備業者など、多種多様なニーズや案件を持つ発注企業60社が集まり、四国圏内の受注企業145社と576件の商談が行われました。

商談は、受発注企業双方の申請によりビジネスニーズがマッチした事前予約商談形式(1回あたり20分)とし、自社のニーズや技術、保有設備について、図面や資料をもとに、終始活発な商談が行われました。

四国4県の参加企業からのアンケート結果によると、商談総計576件のうち試作依頼1件、見積依頼166件、図面検討依頼77件、後日訪問46件、情報交換261件、その他25件の成果が得られました。

本県受注企業からは「数社から見積依頼が得られた。」、「明日企業訪問が決まり、詳細な打合せを行う。」など当日すでに手応えを感じている企業も多くあり、来年度も参加したいという声が多く聞かれました。

当機構では、このほかにも多くの商談会の開催や、展示会への出展支援を行っています。企業の成長のためには、現在の受注量だけではなく、将来を見据えた新規取引先の開拓や情報収集が必要不可欠です。商談会や展示会の活用は、企業単独で取引先を開拓するよりはるかに効率的な商談が可能です。出展にかかる経費への支援制度もありますので、ご関心をお持ちの方はぜひご相談ください。

また、当商談会の次年度予定等についても、お気軽にお問い合わせください。



理事長開会あいさつ







お問い合せ先　(公財)とくしま産業振興機構　成長戦略推進部　販路開拓支援・産学連携担当
TEL　088−654−0102　E-mail　sinkou@our-think.or.jp

税理士から一言

令和７年11月９日

ファイナンス理論



税理士法人福山会計

公認会計士・税理士　**福山　優**

税理士は敷居が高いと感じることもあると思いますが、身近な存在であり、随時相談を受け付けております。
ぜひお気軽にお越しいただければと思います。

こんにちは。

年末が近づいてきましたね。私は現在 43 歳、徳島に帰ってきて 12 年なのですが、年々、時間の経過が早くなってきています。変化が減っているということなのかなぁとは思うのですが、なかなか新しいことに取り組むのも難しいですね。

はじめに

昨年 NISA の上限額が大きく引き上げられたことで株式投資が注目されています。そこで今回は株式投資の理論であるファイナンス理論の歴史について述べたいと思います。

株式投資というと皆さまどんなイメージを持つでしょうか。『多額の資金を投じて行うギャンブル』『90 年代の株式バブル崩壊時に親族がひどい目にあった』『退職金で一発当てようとして大きく損をしてしまった』こんな話をたくさん聞いてきて、良いイメージを持っていない方が多いのではないでしょうか。

しかし、株式投資には『ファイナンス理論』というきちんとした学問が存在しており、まっとうな議論がなされているのです。今回はその議論の一端をお伝えしたいと思います。ただ、私はファイナンス理論の専門家ではなく、公認会計士試験で勉強した程度の人間ですので、体系だったご説明が難しいということもあり、専門用語の解説という形で進めたいと思います。

最初のファイナンス理論

1900 年、数学を専攻する学生、ルイ・バシュリエが株式投資を論文のテーマに選んだのが最初のファイナンス理論だと言われています。早くに両親を亡くした彼が家族を養うためにパリ証券取引所で働きながら論文を書いたことから、数学と株式投資が結びつくこととなりました。

『株式の値動きは完全にでたらめであり、だれも将来の株価を予測することは出来ない』という前提を置くべきだという、『ランダムウォーク理論』がのちのファイナンス理論発展の礎となります。

ポートフォリオ理論

ファイナンス理論においてポートフォリオとは保有する株式の構成を言います。A 社 B 社 C 社の株式をそれぞれどの程度保有するのがよいか、といった文脈で『私のポートフォリオは…』と表現します。

昔は、どのような会社の株式を組み合わせて所有すべきかを提案する職業の方が多くいて、お客様のご希望

やご年齢などに応じて彼ら成りの経験則から組み合わせを提案してきました。

この『組み合わせ』を経験則から理論へと昇華させたのがポートフォリオ理論です。

分散効果

ある 3 銘柄の株式を保有する場合、そのリターンは 3 銘柄の平均値となりますが、リスクは低減する効果があります（分散効果）。なぜなら、3 つの銘柄はそれぞれに違う値動きをするためです（相関係数）。これは経験則では『複数の卵を同じカゴに入れてはならない』と表現されてきました。

CAPM（キャップエム）

組み合わせることでリターンを維持しながらリスクを低減できるのはわかった。では具体的にどう組み合わせれば一番良いのか、つまり、リスク 1 単位当たりのリターンが大きいのか。諸々の前提を飛ばしていきなり結論に飛びます。リスク資産の市場全体、つまり株式市場全体に投資すれば、リスク／リターンは最大化される、というのが CAPM です。市場全体に投資してしまえば、個別の株式が有するリスクは消失し、残されるのは市場自体が有するリスクのみとなります。

インデックスファンド

理論モデルである CAPM を現実に適用した結果生まれたのが、のちのインデックス投資信託です。いわゆる『オルカン』や『S&P500』は誰もが聞いたことがあると思います。『オルカン』は全世界の株式市場、『S&P500』は米国の株式市場を広く『組み合わせ』ています。

NISA の販売ランキングで上位を独占するこれらの投資信託は単に流行りものというわけではなく、百年に及ぶファイナンス理論の積み重ねがあるのです。

トービンの分離定理

市場ポートフォリオがもっともリスク／リターンが高いとはいえ、市場リスクは除去できず残っており、リスクは完全にゼロに出来るわけではない。では、各人が保有する現預金のうち、どの程度の割合、市場ポートフォリオを購入すればいいのか。この問題に答えるのがトービンの分離定理です。

まず、金融資産を『危険資産（元本割れリスクあり）』と『安全資産（元本割れリスクなし）』の 2 つに分類します。危険資産については最もコスパの良い市場ポートフォリオを選びます。安全資産については、最もコスパが良いのが国債ですから、国債を選びます。

あとは各個人がどれだけリスクをとれるのか（リスク許容度）に応じて、市場ポートフォリオと国債の比率を決定すればよい、とするのがトービンの分離定理です。

働き盛りで、金融資産がゼロになってもまた稼ぐから全く問題ない、というのであれば、全ての資産を市場ポートフォリオに投じてもよいでしょう。一方で 65 歳を超えてリタイア済みであり、リスクを極力取りたくない、というのであれば国債の比率を高めればよい、ということになります。

いかがでしたでしょうか。

株式投資に対して少しでも前向きになっていただけたら幸いです。

他方で、株式投資を始めてはみたけれど、何を指針にしていけばよいのかわからなくて困っていたという方は、ぜひ本項を安定的資産形成の参考にしていただきたいです。

現在、AI バブルが過熱していることから、崩壊が近いとささやかれています。バブル崩壊は最も強烈な市場リスクですが、理論的背景を知ったうえで長期的な視点から資産形成に取り組んでいただければと思います。



徳島県 よろず 支援拠点

徳島県の中小企業における新卒採用で大切な3つのこと



楠本　智美　徳島県よろず支援拠点コーディネーター

中小企業のあらゆる経営上の悩みに対応するため、（公財）とくしま産業振興機構内に「徳島県よろず支援拠点」を開設しています。皆様のお役に立ちそうな支援内容を「徳島県よろず支援拠点」のコーディネーターが交代で紹介していきます。

徳島県内の企業を訪問すると、「自社に興味を持つ若者が少ない」という声をよく耳にします。県の総人口は約 70 万 5 千人（令和 6 年推計）と減少が続き、地域経済の活力維持のためには「若者の地元定着」が重要です。しかし、若者の県外流出は深刻で、四国経済連合会の調査によると、徳島県の高校生の 56.7% が県外進学を希望しており、これは四国で 2 番目の高さとなっています。

とはいえ、「中小企業では学生に振り向いてもらえない」と諦める必要はありません。パーソル総合研究所の調査などを読み解くと、学生の価値観と就職行動は大きく変化しており、そこにこそ中小企業のチャンスがあります。本稿では、徳島県の中小企業が新卒採用で取り組むべき 3 つのポイントを提案します。

1.「早期認知」と「関係構築」を戦略化する

学生は企業を知らなければ選べません。四国経済連合会の調査では、徳島県の高校生の 48.9% が「働きたい地元企業が分からない」と回答。事業内容まで知っている企業が「ゼロ」の生徒は 30.8% にも上ります。

認知不足は将来の U ターン志向にも関わっており、四国全県を合わせた高校生のうち「働きたい地元企業がある」生徒は 67.0% が地元志向である一方、「ない」生徒では 49.5% が「住みたくない」と回答しています。地元で働くイメージを持てるかどうかは、将来の居住意向に影響を与える要素の 1 つであることがうかがえます。

採用活動の主戦場と考えられがちな大学 3 年生では、すでに遅い可能性があります。大学 2 年の冬に就活を始める学生は 2 割。徳島の高校生は半数以上が県外進学し、都市部の企業情報に触れる機会が圧倒的に増えるためです。

だからこそ、中小企業は高校生の段階から接点をつくる採用戦略への転換が求められます。

- ●高校向けキャリア教育への積極的参加
- ● SNS を活用した「リアルな会社の姿」の継続的発信
- ●進学後も追いかけられる情報提供の構築

「徳島にも面白い会社がある」という認知の種まきが、将来の U ターンへの入口となりえるのです。

2. 徳島の「QOL」と「働き方」を価値として提示する

パーソル総合研究所の調査によると、現代の学生は従来重視されていた「成長したい」「やりがいを感じたい」「尊敬できる上司の下で働きたい」といった動機が低下。代わって最も重視されるのは「仕事とプライベートの両立」「働きやすさ（場所の融通など）」でした。

つまり、曖昧な情緒的価値より生活の質（QOL）を重んじる方向へとシフトしています。

ここに徳島の中小企業の強みがあります。

- ●満員電車とは無縁の通勤環境
- ●地元に根差し、転勤リスクが低い
- ●残業が少なく、家族や趣味の時間が確保しやすい

四国経済連合会の調査では、「一度県外へ出ても地元で暮らしたい」という高校生は 37.9% と、U ターン予

備軍は確実に存在します。彼らに刺さるのは、都市部では得にくい“徳島ならではの暮らしと働き方”の提案です。

3.「見極め」から「巻き込む採用」へ

採用プロセスそのものも転換が求められています。インターンシップ参加率は 68.3% と高まり、学生は職場のリアリティを重視しています。入社の決め手となるのは、「職場の雰囲気が実感できたか」や「社員同士のコミュニケーションが自然か」といったものです。社員の自分に対する言動以上に、「社員同士のやりとり」を観察しており、そこからその企業の組織文化を推測しているのです。学生は「建前」に敏感で、タテマエを感じるほど入社意欲は低下します。つまりありのままを見せることが信頼獲得の最強戦略なのです。

中小企業に求められるのは、

- ●飾らない職場体験の提供
- ●良い面も課題も誠実に伝える
- ●一人ひとりに丁寧なフィードバック

これは大企業では真似しにくい中小企業ならではのインターンシップ。学生と共に働く理由をつくる「巻き込む採用」こそ、中小企業の活路です。

おわりに

徳島での採用環境は確かに厳しくなっています。しかし、学生の価値観の変化は、中小企業にとってチャンスでもあります。

- ❶早期に認知を獲得し、関係をつくる
- ❷徳島ならではの暮らしやすさを価値として示す
- ❸リアルな職場体験で信頼を築く

これらの取り組みを地道に積み重ねることが、徳島の未来を担う若い才能と結びつきを築いていくための、最も現実的で温かい道筋となり得るのではないでしょうか。

【情報ソース】

四国経済連合会「企業の教育への関わり方に関する調査」
https://yonkeiren.jp/pdf/20250529_honpen.pdf

パーソル総合研究所「新卒就活の変化に関する定量調査」
https://rc.persol-group.co.jp/wp-content/uploads/thinktank/data/job-hunting.pdf

著者略歴：**楠本　智美**（くすもと・ともみ）
kurikuri お菓子の会（主催）
得意分野：商品開発／食品衛生／創業支援
保有資格：キャリアコンサルタント／管理栄養士
製菓衛生師



よろず支援拠点の連絡先は以下のとおりです。

徳島県よろず支援拠点

徳島県徳島市南末広町 5 番 8-8
徳島経済産業会館 2 階
HP https://yorozu-tokushima.go.jp/

電話（よろずにゴー） **088-676-4625**

受付時間

【平日】9:00～17:45
【休日相談会】
●第1・第3土曜日　10:15～17:00　徳島市産業支援交流センター（アミコビル9F）
●隔週日曜日　10:00～17:00　徳島駅前ポッポ街

（最新情報を確認して下さい）

価格転嫁等に関する経営相談窓口を設置しております。
相談希望の方は上記、徳島県よろず支援拠点にご連絡ください。

近日開催の長久館セミナー 一覧

セミナー名	開催日時	場　所	概　要	受講料
起業力養成講座 （オンライン）	オンデマンド 申請は 随時受付	オンライン	実業家やベンチャー起業家、銀行員、中小企業診断士といった各分野の専門家が創業に必要な基礎知識を解説します。	**2,000円**
デジタルマーケティング 体感セミナー ～上げる阿呆に 観る阿呆。 同じ阿呆なら 上げなきゃ損々～	1月21日 10回シリーズ 8回目 （毎月1回）	とくしま 産業振興機構、 オンライン	YouTube、Instagram、X、TikTokなどのSNS上の情報や、ChatGPT、Copilotなどの生成AIが出力する情報を観ることに多くの時間を費やしていませんか？最近は生成AIの活用で情報発信の敷居がグッと下がっています。上げる（Upload）側に立って、積極的な情報発信にチャレンジしませんか。8回目となる今回は「TikTok」。引き続き、2026年2/25、3/25に実施。随時募集。	**無 料**
今すぐ使いたくなる！ 最新生成 AI 活用術	1月26日	とくしま 産業振興機構、 オンライン	日本マイクロソフト西脇資哲氏が生成AIの最新動向から業務・日常での具体的活用法を初心者にもわかりやすく解説。製造業事例やすぐ試せるヒントも満載、AIの変化を体感できます。	**無 料**
徳島県生産性 向上・成長力 強化支援事業 補助金セミナー	1月27日	とくしま 産業振興機構、 オンライン	厳しい経営環境にある中小・小規模事業者の生産性向上や成長力の強化を促進するため、徳島県の「生産性向上・成長力強化支援事業補助金」（3月31日公募締め切り）申請が開始します。 補助対象は設備資金と生産性向上に結びつく改修・改善費です。要件等補助金の詳細を解説します。	**無 料**



メールマガジンのご案内

とくしま産業振興機構では、開催するセミナーのご案内などを掲載した「メールマガジン」を発行しています。

次のQRコード先よりお申し込みいただけましたら、ご登録情報へ開催セミナーのご案内をさせていただきます。

皆様のお申し込みをお待ちしています。

お申し込みはこちら➡

とくしま経済飛躍
ファンド活用事例

株式会社ボンアーム

代表取締役／三谷 芳広 氏
住所／徳島県徳島市南内町 1-6 ミタニビル 2F
TEL ／ 088-656-3220
E-mail ／ bon-arm@bon-arm.com
HP ／ https://bon-arm.com/

▲HP

Q1 これまでの歩みや、今までのファンドで販路開拓をした商品を教えてください。

名称【自社製造の藍粉を使った、藍マンマローザの販路開拓と徳島県への誘客】



1960 年にボンアームの前身の三谷薬局を徳島県徳島市に創業、2006 年からはボンアームとして徳島県内 4 店舗の調剤薬局を運営しています。調剤薬局を運営していくなかで、薬で病気が治るというものではなく、対処療法だけでなく、食の改善や生活習慣の見直しが大切であることに気がつきました。そこで、2010 年から野菜専門 vegifull（ベジフル）事業を開始しました。そして 2012 年には、徳島県の伝統産業である藍の " 食としての機能性 " に着目し、染料ではなく食用としての栽培・加工・商品化・販売をスタートさせました。藍は中国では約 3,500 年前から薬用植物としても利用されていたという文献もあります。日本では藍は染料であり、薬用や食用として認められていませんでしたが、徳島は藍で発展してきたという歴史があります。私は藍で徳島をもっと元気にしたいんです。徳島を活性化させるために、かつて存在しながらも忘れられていた藍の食文化を現代に蘇らせたいという想いから、8 年前に大学・自治体・民間企業と協力し、プラットフォームを立ち上げ、安全性試験や歴史的史実の整理を重ね、各地で藍を食べるイベントを継続して開催してきました。

これらの活動を国に提出し、2020 年に藍が「食の区分」に登録されました。

藍を食用として使用するためには農薬は使用できません。美馬市には、農薬を使わずに作物を育てる地域があり、その傾斜から世界農業遺産にも認定されています。

標高約 400m の自然豊かなこの地でなら安心して藍を育てられると、7 年前から食用藍の栽培を始めました。藍農家さんを活性化させたいという想いもあるので、それなら自分たちで藍のお菓子を作ろうという話になり OEM で作ってもらうようになっていました。以前からイルローザの岡田社長とも藍でのコラボについて話をしており、地元貢献活動にも積極的な同社に「一緒にやりませんか」とお声がけし、【藍マンマローザ】が誕生しました。

商品化には 2 ～ 3 年をかけ、隠し味のヨーグルトでマンマローザ本来の美味しさを活かしながら、さっぱりとした風味に仕上げています。

パッケージには写楽をデザインし、徳島を強く打ち出しています。東京・有楽町の交通会館や徳島の土産物屋さんやスーパーにも置いています。

Q2 ファンドを活用しての販路開拓はいかがでしたか？

ビッグサイトでの『レジャー＆アウトドアジャパン／地方創生ツーリズム 2024』は、今回が第 1 回目の開催であり、これは大きなチャンスだと感じました。

初回ということもあり、出展者・来場者ともに情報を広げたいという意欲が高く、多くのお客様が関心を寄せてくださいました。藍マンマローザは非常に高い評価をいただき、その場でご購入くださる方もいらっしゃいました。

特に小さなお子さまを持つお母さま方に大変ご好評をいただきました。

また、「地方創生」をテーマとした展示であったため、徳島への来訪促進を目的に、ツアーパッケージの提案や、藍の体験ツアー・トレイル企画、そしてお土産としての商品の提案も行いました。

Q3 ファンドを活用して良かったことや今後について教えてください。

販路拡大に向け、初めて自社単独で出店ブースを設けることができました。

これまではさまざまな団体や企業と共同で出展していましたが、単独ブースとすることで、自社ブランドの世界観をより明確に打ち出すことができました。ファンドを活用し、ブランドイメージを形にすることができたのは非常にありがたい経験でした。



ファンドの支援によって新たなチャレンジが可能となり、思い描いていたデザインを実現し、自社ブランドの確立につなげることができました。

また、ファンドを活用して藍化粧水や藍石けんの商品開発も行うことができました。

今後も引き続き積極的にファンドを活用し、さらなる事業展開を目指していきたいと考えています。

とくしま経済飛躍ファンド事業では、他にも多くの県内事業者の新商品開発・展示会出展を支援してきております。当事業についての詳細は、こちらの連絡先で御確認ください。

TEL. 088-654-0103

〈機構ウェブサイト ▼〉

https://www.our-think.or.jp/305385/







賛助会員紹介

INTRODUCING
SUPPORTING
MEMBERS

当機構の賛助会員企業をご紹介します。
事業コラボや提携等、ぜひお考えください。
また、賛助会員は年1回事業に関する広報を
当誌に同封できます。
活用したい方は当機構にご連絡ください。

株式会社リブドゥコーポレーション



会社概要

介護（Care）と治療（Cure）の両域において、一人ひとりの「生きるチカラを応援する」企業として事業を展開。介護（Care）の領域であるライフケア事業では、「リフレ」ブランドで大人用紙おむつを製造・販売しており、施設・病院向けの業務用分野において介護のプロたちから選ばれています。

会社の商品の特徴や強み

商品のバリエーションが豊富で、他社が3つから4つのサイズ展開のところ、当社は6つから7つの豊富なサイズ展開となり、現場のこまやかなニーズに応えています。また、紙おむつの正しい使い方のレクチャーや勉強会も開催。その他、介護にまつわるさまざまな情報もWEBで定期的に発信しています。



今後の展開

超高齢社会において、両事業ばかりでなく、それぞれの重なる領域や周辺領域にもビジネスドメインを拡大しようとする取り組みもスタートしています。

連絡先

代　表　者：代表取締役 社長執行役員　宇田 知仁
本　　社：大阪府大阪市中央区高麗橋3-4-10 淀屋橋センタービル（電話：0120-662-115）
徳島貞光工場：美馬郡つるぎ町貞光字小山北89-1（電話：0883-55-2035）
ホームページ：https://www.livedo.jp/

森正株式会社



会社概要

森正は木工メーカーとして仏壇仏具を中心に製造を行っています。今や7~8割近くが中国などの海外生産商品になっている中で、我々は国産というキーワードにこだわり高品質で高付加価値のお仏壇・お位牌の製造をしています。また「おぶつだんの悟空」というアンテナショップも徳島県内で2店舗展開しています。

会社の商品の特徴や強み

「人々の心の安らぎと人間生命の輝きを目指す」を理念に創業から50年以上、仏壇仏具の製造卸売り販売を中心に事業を行ってきました。国内工場としては最大規模を誇っており、全ての工程を一貫生産しています。みかげ塗りをはじめ独自の技術を多く持ち、品質・デザインに高い評価を頂いています。



今後の展開

近年、ライフスタイルの変化によって祈りの在り方も変化しており、それに合わせて仏事の事情も変化しています。変わりゆくなかで常に挑戦し続ける姿勢こそが弊社のDNAであり、仏壇仏具の世界で人の心に深く刻まれる商品開発を目指し、また仏壇だけにこだわらず祈りの形を模索しながら、未来の祈りの形を創造していきます。

連絡先

代　表　者：森 駿
住　　所：板野郡北島町北村字鍋井3-9
電　　話：088-698-3003
ホームページ：https://www.morisho.jp/

アジア展望
～上海事務所だより～

加宮 恭子
（公財）とくしま産業振興機構
上海事務所　所長

中国の高齢化について

世界最大の人口を誇っていた中国も全人口数をインドに追い抜かれ、また、過去の一人っ子政策や昨今の不況の影響から少子化となり、人口の高齢化が急速に進んでいます。

中国では高齢化が急速に進行しています。中国民政省の2023年版統計公報によれば、2023年末時点で60歳以上の人口は2億9697万人に達し、総人口に占める割合は21.1％となり、1年前より1.3ポイント上昇しました。また、65歳以上の人口割合は15.4％と0.5ポイント増加しています。中国政府は、2035年までに60歳以上の人口が4億2000万人に達し、総人口比が30％を超えると予測しており、2050年頃にピークを迎えると見込んでいます。

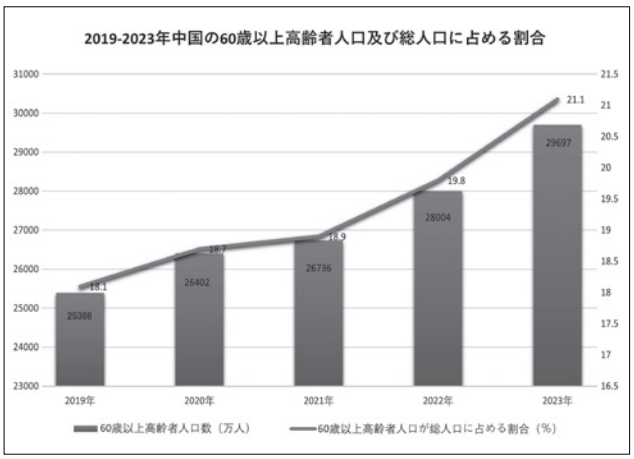
こうした高齢化の進展により、中国では医療、介護、健康関連サービスへの需要が急増しています。2021年時点で60歳以上のうち認知症患者が1507万人とされており、認知症ケアの必要性がますます高まっています。また、健康意識の向上に伴い、健康食品や特定保健用食品、栄養補助食品への需要も拡大。中国消費者協会の予測によると、2024年の健康産業売上高は約9兆元（約185兆円）に達するとされ、これは2021年の8兆元から1割以上の成長を示しています。さらに、健康診断やフィットネス、リハビリ、理学療法への関心も高まり、個人がこれらにかける費用も増加傾向にあります。

このように、中国は高齢化に伴い医療・保険分野の支出が拡大し、高齢者関連商品やサービスに対する非常に大きな市場需要を有しています。

日本は急速な高齢化に対処する中で、介護保険制度の導入やヘルスケア、福祉関連分野の発展を通じて、質の高い高齢者向け商品やサービスを多様に展開してきました。これにより、日本のノウハウや技術が、中国市場で注目を集めており、ジェトロもこの分野の中国市場に注目しています。

特に、介護用品やリハビリ機器、健康食品などの分野では、日本企業が持つ技術や製品が中国の需要を獲得できると思います。商品やサービスをみても、中国はまだまだ脆弱です。中国人に話を聞くと、都市部でも親子同居で家族介護が多く、地方に行くとその傾向が強いと言い、結婚をためらう人もいるようです。

徳島県では高齢化率が35％を超え、全国平均を上回る状況です。日本では高齢者が安心して暮らせる地域社会の構築に向けたさまざまな取り組みが進められており、徳島県をはじめとする日本の高齢化先進地域の知恵やサービスが、中国でのビジネスチャンスとなる日が来ると思われます。



高齢化のグラフ　（出典 中国国家統計局）

企業情報とくしま
12月号 No509 令和7年12月1日
2025.12 No.509

令和８年度とくしま経済飛躍ファンド助成事業募集開始のお知らせ

令和8年度

第1回 とくしま経済飛躍ファンド助成事業

助成金額 最大500万円

新たな製品の試作開発、開発新製品の販路開拓等の経費を助成します。

募集期間 令和7年12月8日(月) 〉〉〉 令和8年2月13日(金) 午後5時(必着)

令和８年１月30日(金)までに来所し、応募要件の確認を受けてください。

	「LED× 藍」産業応援枠	地域資源産業応援枠
目的	「LED×藍」産業応援ファンドは、「次世代LEDバレイ構想」の推進、藍産業の振興、農林水産業の振興に資する各種事業を行おうとする事業者等に対し、事業の実施に必要な経費の一部を助成し、徳島の強みを生かした産業の飛躍による地域経済の活性化を図ることを目的としています。	とくしま経済飛躍ファンド(地域資源産業応援枠)は、「徳島こそ」、「徳島ならでは」の地域資源にさらに磨きをかけ、競争力を有するオンリーワン産業を創造するための各種事業を行う事業者等に対して、事業の実施に必要な経費の一部を助成し、経済飛躍とくしまの実現を図ることを目的としています。
助成事業	●新商品・技術開発支援事業 ●ブランド化・販路開拓支援事業	●新商品・技術開発支援事業 ●創業支援事業 ●人づくり支援事業 ●ブランド化・販路開拓支援事業 ●にぎわいづくり支援事業
助成対象者	●県内において、創業又は経営の革新を行おうとする中小企業者 ●県内において、中小企業者の創業又は経営の革新を支援する事業を行う者(中小企業者を支援する団体)	
助成対象経費	県内に主たる事業所のある中小企業等が事業実施期間に実施する新商品・技術開発や開発した新商品の販路開拓などに要する経費。 ※ 事業実施期間とは、交付決定日から最長令和9年2月28日まで。 ※ 助成対象経費の具体的な内容は募集要項で確認してください。	
助成率及び助成額	助成率：事業内容により2／3～3／4以内 助成金額：事業内容により50万円～500万円以内	



とくしま経済飛躍ファンド助成事業とは？



県内の頑張る中小企業等が行う新商品・技術開発や新たに開発した商品の販路開拓等の取り組みに対して、その経費の一部を助成します。

公益財団法人とくしま産業振興機構
経営支援部 創業・人材育成・事業化支援担当
徳島市南末広町５番8-8号 徳島経済産業会館２階
TEL (088)654-0103 FAX (088)653-7910
MAIL jigyouka@our-think.or.jp
URL https://www.our-think.or.jp

お知らせ

今年もご愛読ありがとうございました。よいお年をお過ごしください。
来月号は、新年特集として徳島の女性経営者の展望記事をお送りします。

発行所：公益財団法人とくしま産業振興機構 経営支援部
〒770-0865 徳島市南末広町5番8-8 徳島経済産業会館 2階
TEL.088-654-0101(代) FAX.088-653-7910 E-mail: jouhou@our-think.or.jp
印刷所／協業組合徳島印刷センター
徳島市問屋町165 TEL.088-625-0135